

# 豊能町総合まちづくり計画 住民意識調査結果報告書

【令和元年度調査・平成 27 年度調査・平成 20 年度調査比較】

令和2年3月  
大阪府 豊能町



# 目次

---

1	住民アンケート調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査方法・実施期間	1
	(3) 報告書の見方	2
2	住民アンケート調査の結果	3
1	あなた自身やあなたの世帯について	3
	(1) 性別について（単数回答）	3
	(2) 年齢について（単数回答）	4
	(3) 職業（兼業の方は収入の多い職業）について（単数回答）	5
	(4) 通勤・通学先について（単数回答）	6
	(5) 居住地域について（単数回答）	7
	(6) 居住形態について（単数回答）	8
	(7) 同居の家族について（複数回答）	9
	(8) 18歳未満の子どもの有無について（複数回答）	10
	(9) 居住歴について（単数回答）	10
	(10) 豊能町に転入後の居住年数について（単数回答）	11
	(11) 転入した理由について（複数回答）	11
	(12) 転入する時や住み始めた時に困ったことについて（複数回答）	12
2	定住・転出・移住について	13
	(1) 豊能町での定住意向について（単数回答）	13
	(2) 転出したい理由について（複数回答）	14
	(3) 転出したい最も大きな理由について（単数回答）	15
	(4) 転出の希望場所について（単数回答）	16
	(5) 転出の理由がなければ、豊能町に住み続けたいかについて（単数回答）	17
3	コミュニティとの関わりや意識等について	18
	(1) 地域の活動への参加について（単数回答）	18
	(2) 参加しない理由について（2つまで複数回答）	19
	(3) 地域のつながり・交流について（単数回答）	20
	(4) 地域のつながり・交流を持つ（持ちたい）目的について（複数回答）	21
	(5) 地域のつながり・交流づくりに結びつく「取組」「場」として参加・参画・利用したいものについて（複数回答）	22

4	地域における「しごと」の創出に関する意識等について.....	23
	(1) 豊能町内で働くことについて (単数回答) .....	23
5	地域生活について.....	24
	(1) 町内の路線バスの利用について (単数回答) .....	24
	(2) 町内の土地利用について (単数回答) .....	25
	(3) 優先的に整備していくべき用地について (単数回答) .....	26
6	豊能町の取組について .....	27
	(1) 豊能町の現状について (単数回答) .....	27



# 1 住民アンケート調査の概要

## (1) 調査の目的

本調査は、令和4年度から令和13年度までのまちづくりの基本的指針となる豊能町総合まちづくり計画の策定にあたり、18歳以上の住民を対象として、まちづくりの現状や課題、将来像などについての意向を把握し、計画づくりの基礎資料として役立てるために実施しました。

## (2) 調査方法・実施期間

調査方法	郵送による配布・回収
調査対象者	18歳以上の住民2,000人
調査期間	令和元年11月28日～令和元年12月12日
回収結果（回収率）	1,208件（60.4%）

〔平成27年度調査〕

調査方法	郵送による配布・回収
調査対象者	18歳以上の住民2,000人
調査期間	平成28年1月30日～平成28年2月12日
回収結果（回収率）	900件（45.0%）

〔平成20年度調査〕

調査方法	郵送による配布・回収
調査対象者	18歳以上の住民2,000人
調査期間	平成20年8月18日～平成20年9月1日
回収結果（回収率）	1,217件（60.9%）

### (3) 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

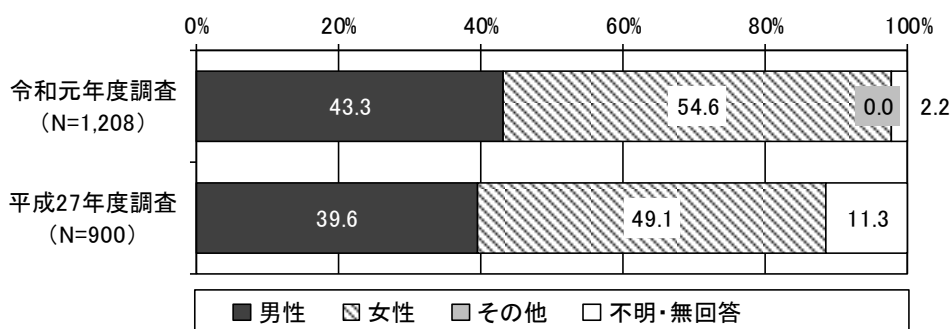
## 2 住民アンケート調査の結果

### 1 あなた自身やあなたの世帯について

#### (1) 性別について（単数回答）

〔令和元年度調査：問1-1、平成27年度調査：問1-①〕

令和元年度調査では、「男性」が43.3%、「女性」が54.6%となっています。  
平成27年度調査では、「男性」が39.6%、「女性」が49.1%となっています。  
両調査とも「男性」より「女性」のほうが1割ほど高くなっています。



※平成27年度調査は「その他」の項目なし。

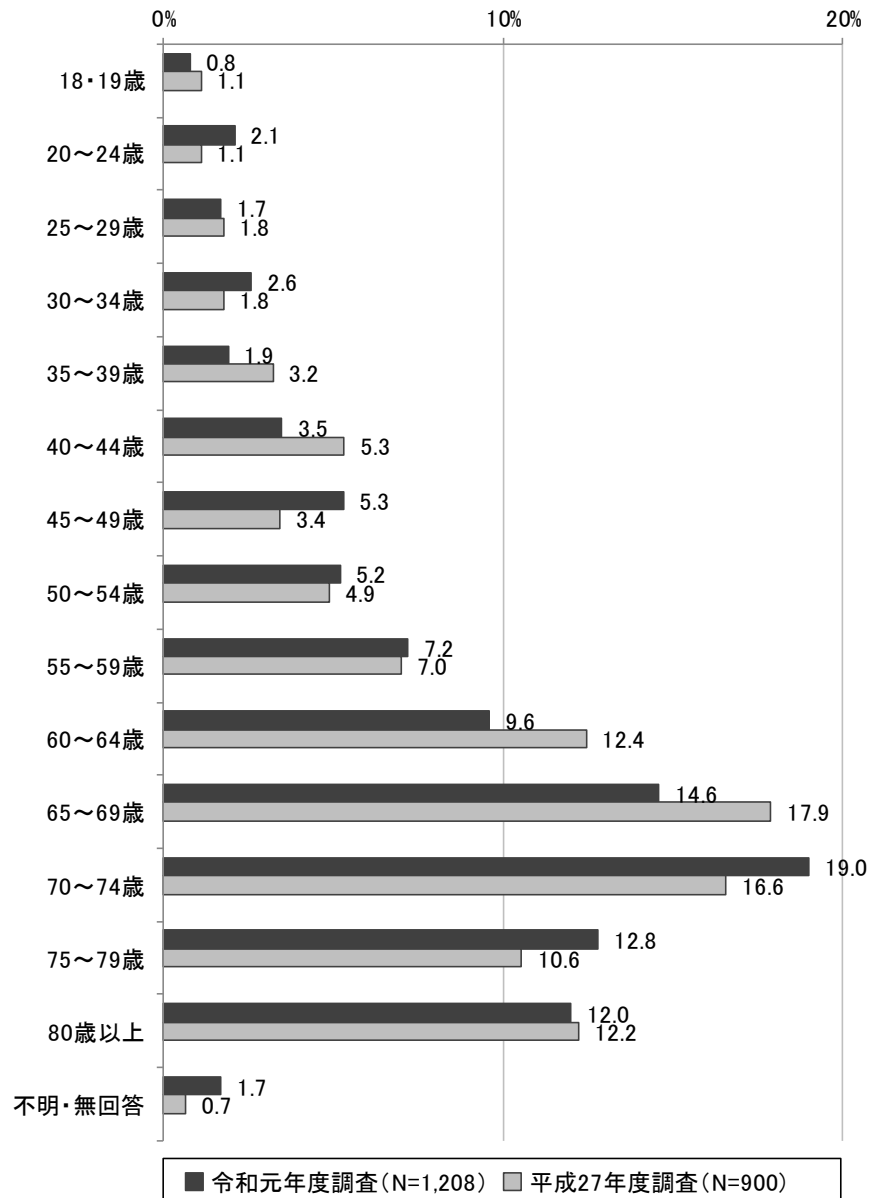


## (2) 年齢について (単数回答)

〔令和元年度調査：問1-2、平成27年度調査：問1-②〕

令和元年度調査では、「70～74歳」が19.0%と最も高く、次いで「65～69歳」が14.6%、「75～79歳」が12.8%となっています。

平成27年度調査では、「65～69歳」が17.9%と最も高く、次いで「70～74歳」が16.6%、「60～64歳」が12.4%となっています。

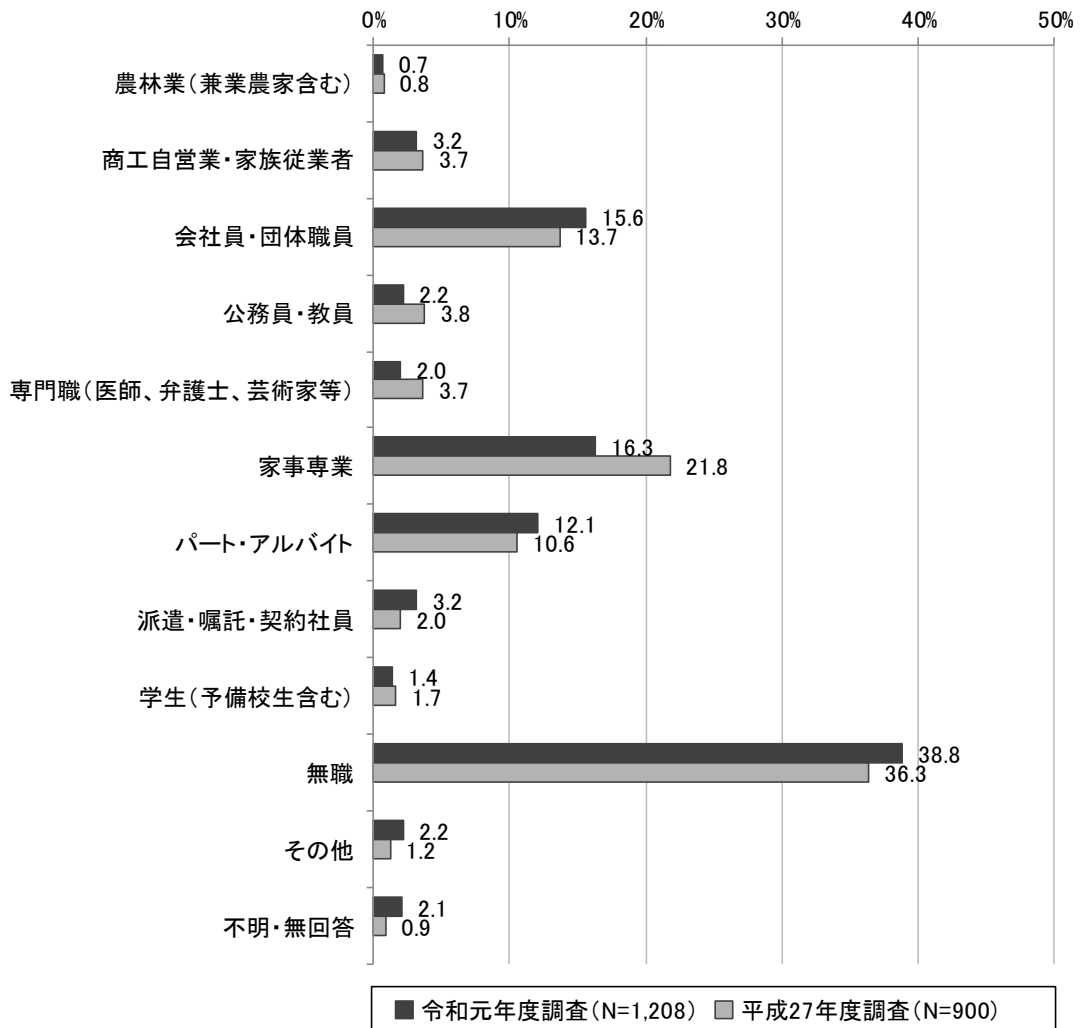


### (3) 職業（兼業の方は収入の多い職業）について（単数回答）

〔令和元年度調査：問1－3、平成27年度調査：問1－③〕

令和元年度調査では、「無職」が38.8%と最も高く、次いで「家事専業」が16.3%、「会社員・団体職員」が15.6%となっています。

平成27年度調査では、「無職」が36.3%と最も高く、次いで「家事専業」が21.8%、「会社員・団体職員」が13.7%となっており、同様の傾向がみられますが、両調査を比較すると、「家事専業」が5.5ポイント減少しています。

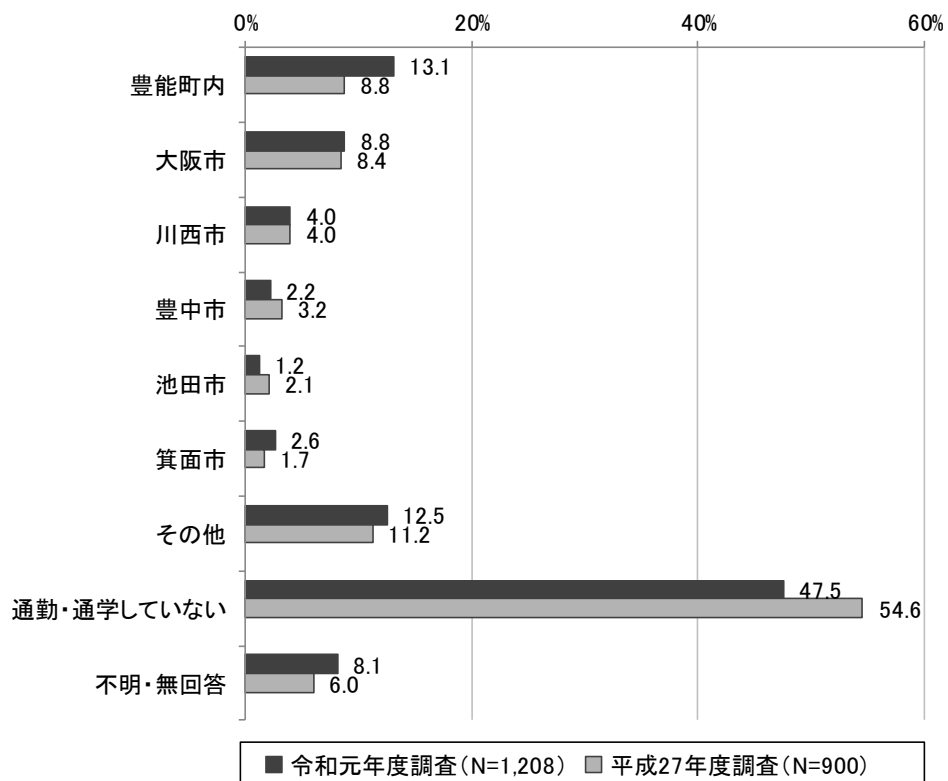


#### (4) 通勤・通学先について（単数回答）

〔令和元年度調査：問1-4、平成27年度調査：1-④〕

令和元年度調査では、「通勤・通学していない」が47.5%と最も高くなっています。「通勤・通学していない」と「その他」を除くと、「豊能町内」が13.1%と最も高く、次いで「大阪市」が8.8%となっています。

平成27年度調査では、「通勤・通学していない」が54.6%と最も高くなっています。「通勤・通学していない」と「その他」を除くと、「豊能町内」が8.4%と最も高く、次いで「大阪市」が8.4%となっており、同様の傾向がみられますが、両調査を比較すると、「通勤・通学していない」が7.1ポイント減少、「豊能町内」が4.3ポイント増加しています。

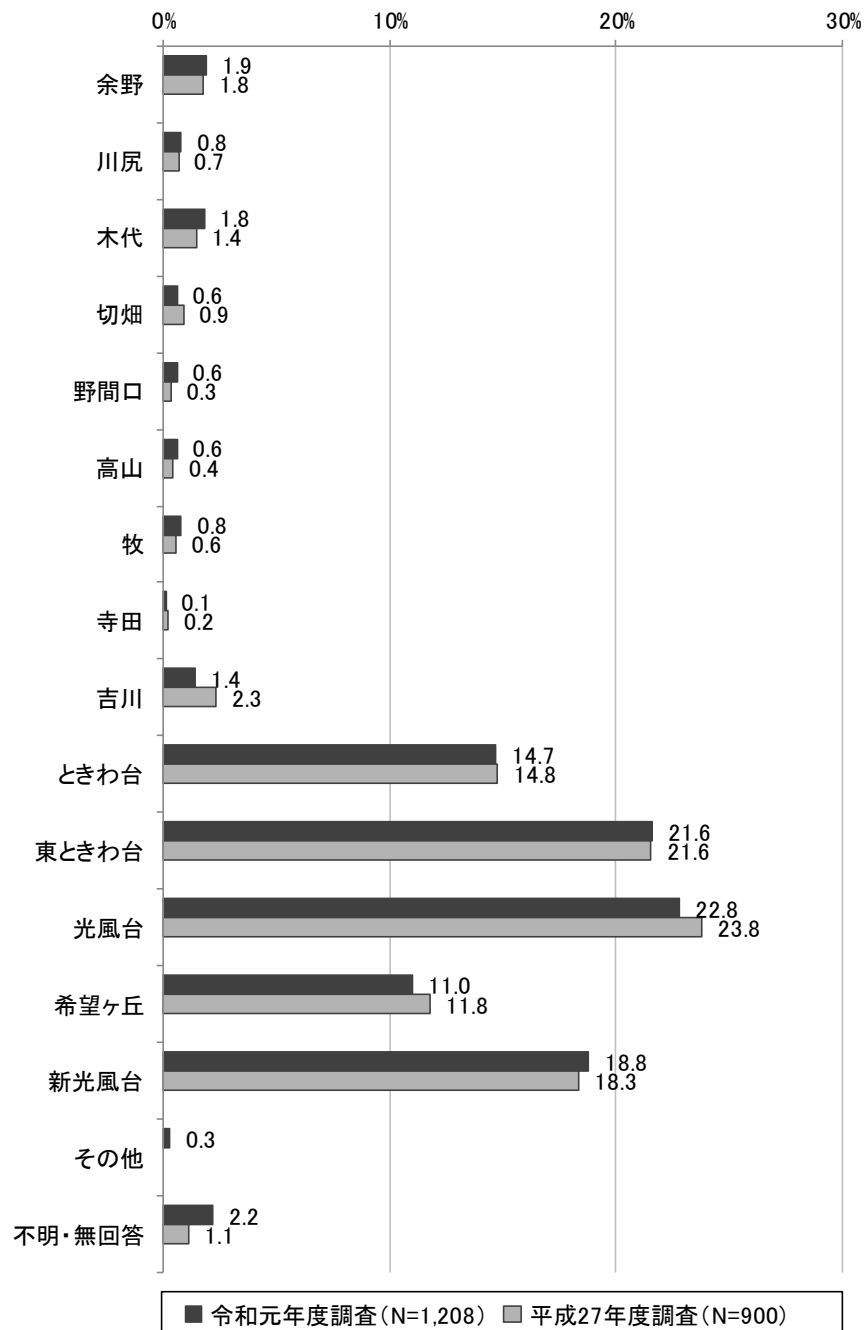


## (5) 居住地について（単数回答）

〔令和元年度調査：問1-5、平成27年度調査：問1-⑤〕

令和元年度調査では、「光風台」が22.8%と最も高く、次いで「東ときわ台」が21.6%、「新光風台」が18.8%となっています。

平成27年度調査では、「光風台」が23.8%と最も高く、次いで「東ときわ台」が21.6%、「新光風台」が18.3%となっており、大きな変化はみられません。



※平成27年度調査は「その他」の項目なし。

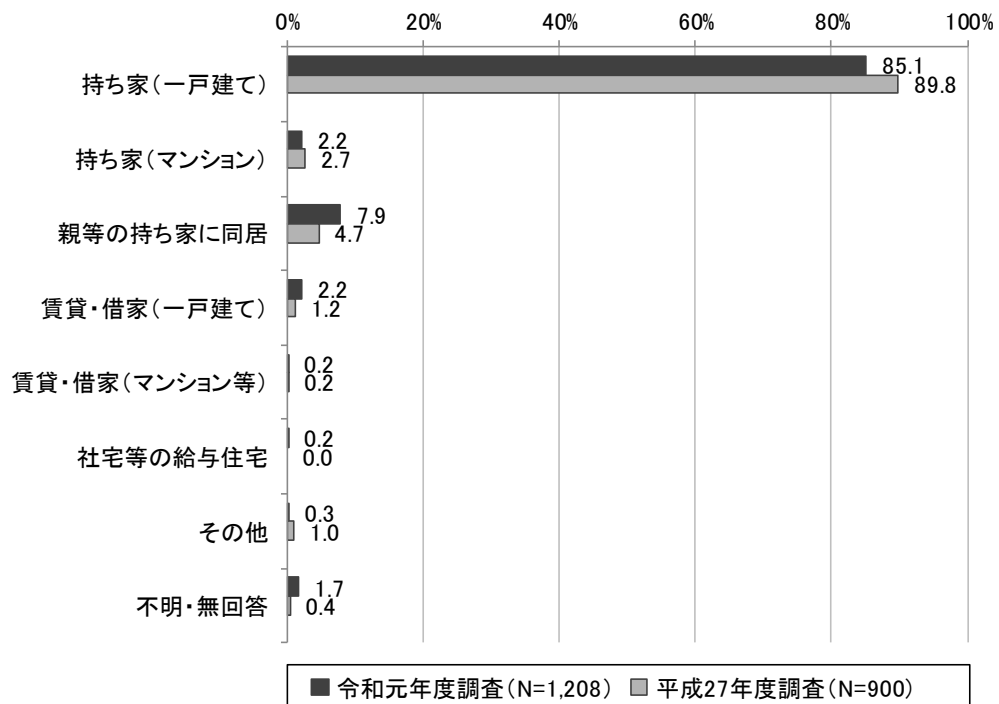
## (6) 居住形態について（単数回答）

〔令和元年度調査：問1－6、平成27年度調査：問3－①〕

令和元年度調査では、「持ち家（一戸建て）」が85.1%と最も高く、次いで「親等の持ち家に同居」が7.9%、「持ち家（マンション）」「賃貸・借家（一戸建て）」がともに2.2%となっています。

平成27年度調査では、「持ち家（一戸建て）」が89.8%と最も高く、次いで「親等の持ち家に同居」が4.7%、「持ち家（マンション）」が2.7%となっています。

両調査を比較すると、「持ち家（一戸建て）」が4.7ポイント減少、「親等の持ち家に同居」が3.2ポイント増加しています。



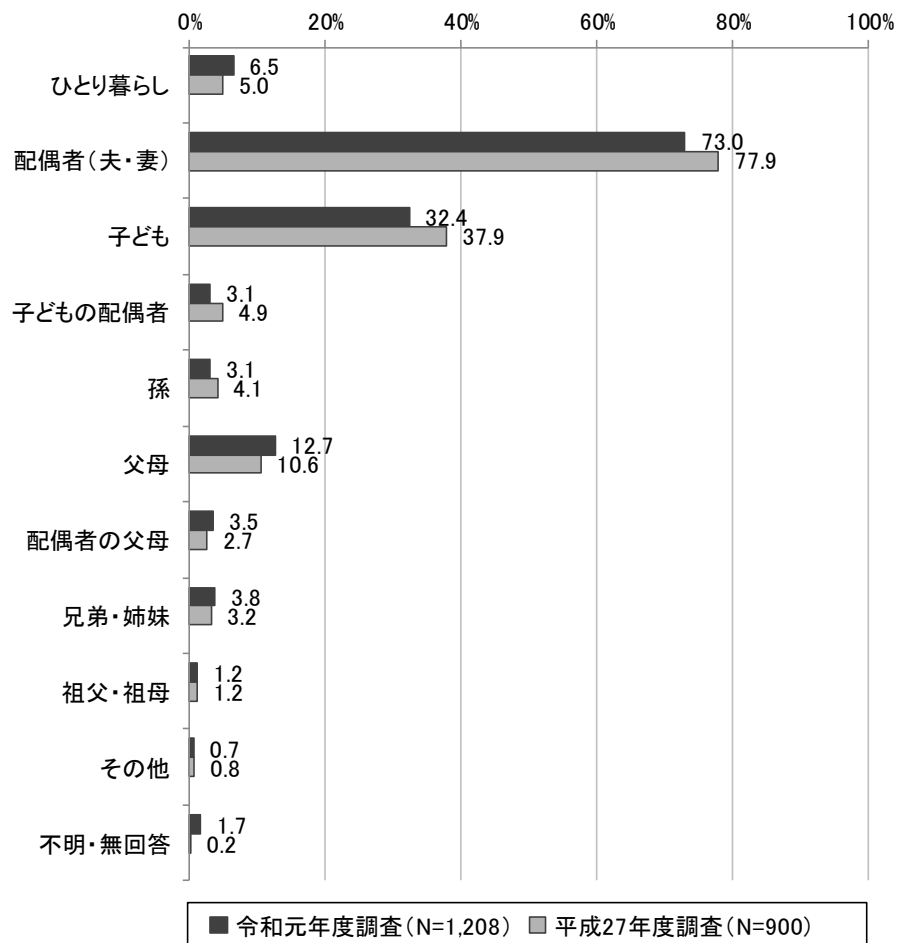
## (7) 同居の家族について（複数回答）

〔令和元年度調査：問1-7、平成27年度調査：問1-⑥〕

令和元年度調査では、「配偶者（夫・妻）」が73.0%と最も高く、次いで「子ども」が32.4%、「父母」が12.7%となっています。

平成27年度調査では、「配偶者（夫・妻）」が77.9%と最も高く、次いで「子ども」が37.9%、「父母」が10.6%となっており、同様の傾向がみられます。

両調査を比較すると、「子ども」や「配偶者（夫・妻）」等が減少し、「父母」や「ひとり暮らし」等が増加しています。

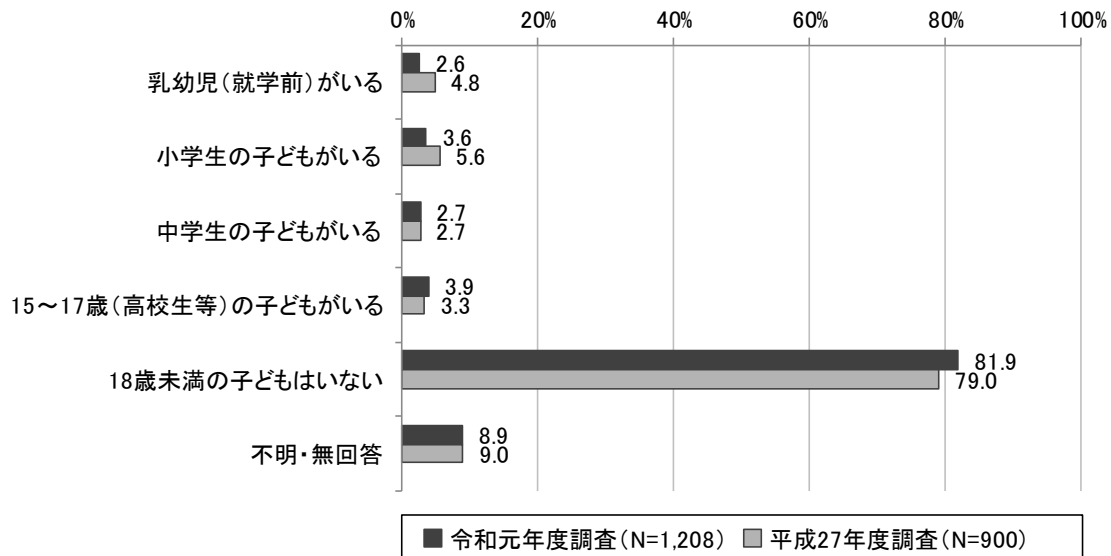


## (8) 18歳未満の子どもの有無について（複数回答）

〔令和元年度調査：問1-8、平成27年度調査：問1-⑦〕

令和元年度調査では、「18歳未満の子どもはいない」が81.9%と最も高くなっています。「18歳未満の子どもはいない」を除くと、「15～17歳（高校生等）の子どもがいる」が3.9%、「小学生の子どもがいる」が3.6%の順に高くなっています。

平成27年度調査と比較すると、「18歳未満の子どもはいない」が増加し、「乳幼児（就学前）がいる」と「小学生の子どもがいる」が減少しています。

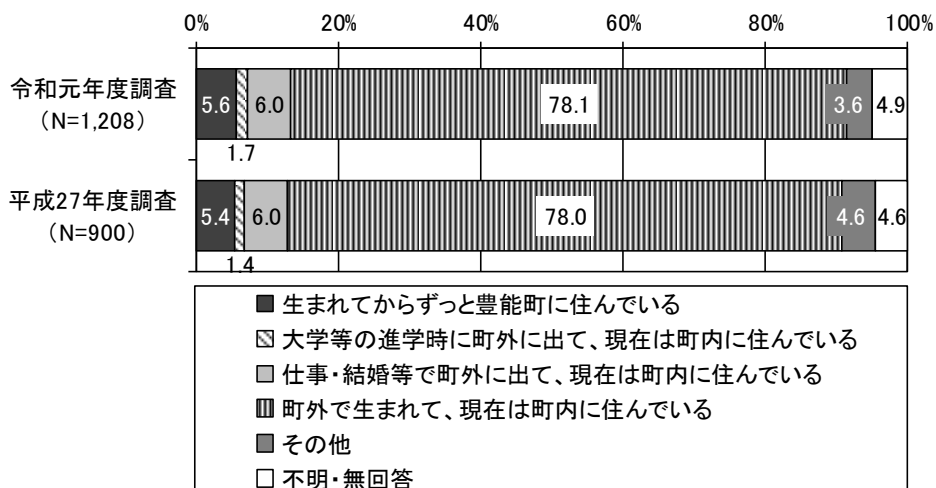


## (9) 居住歴について（単数回答）

〔令和元年度調査：問1-9、平成27年度調査：問1-⑧〕

令和元年度調査では、「町外で生まれて、現在は町内に住んでいる」が78.1%と最も高く、次いで「仕事・結婚等で町外に出て、現在は町内に住んでいる」が6.0%、「生まれてからずっと豊能町に住んでいる」が5.6%となっています。

平成27年度調査と比較して、大きな変化はみられません。

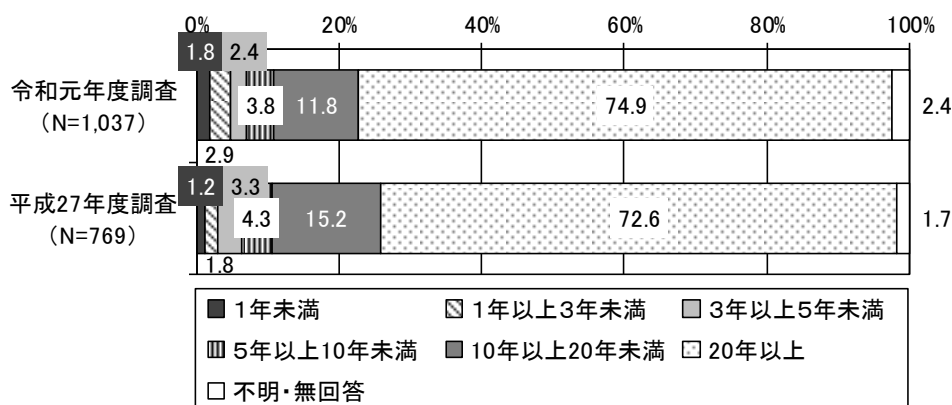


## (10) 豊能町に転入後の居住年数について（単数回答）

〔令和元年度調査：問1-10、平成27年度調査：問1-㉟〕

令和元年度調査では、「20年以上」が74.9%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が11.8%、「5年以上10年未満」が3.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「20年以上」が増加しています。



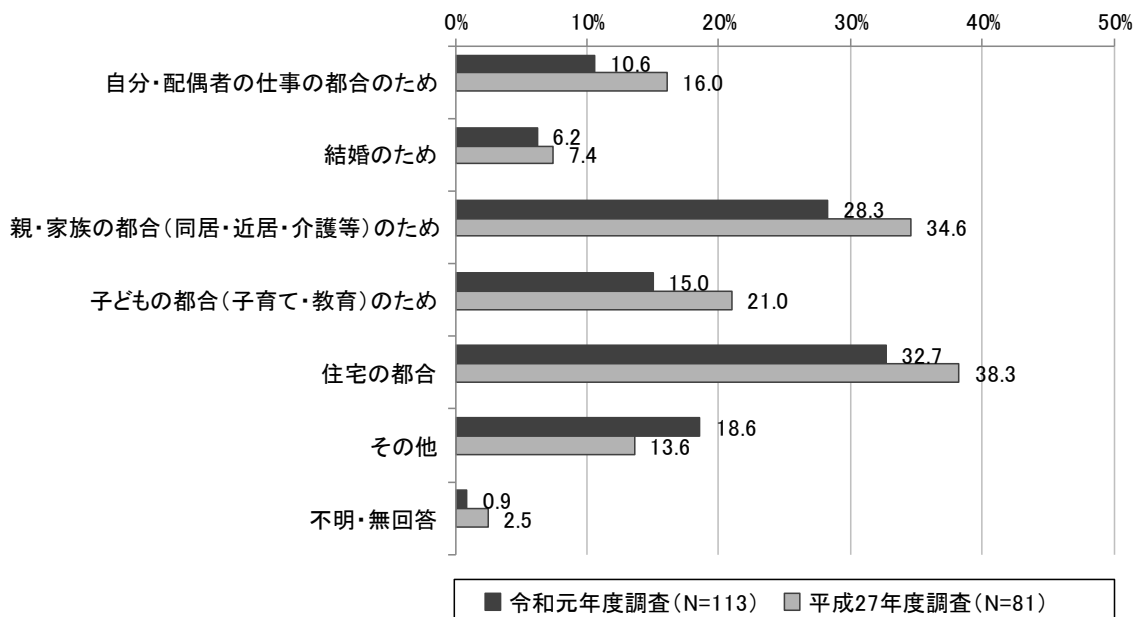
※居住歴についての設問で「大学等の進学時に町外に出て、現在は町内に住んでいる」「仕事・結婚等で町外に出て、現在は町内に住んでいる」「町外で生まれて、現在は町内に住んでいる」と答えた方のみ。

## (11) 転入した理由について（複数回答）

〔令和元年度調査：問1-11(1)、平成27年度調査：問1-㊿〕

令和元年度調査では、「住宅の都合」が32.7%と最も高く、次いで「親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため」が28.3%、「子どもの都合（子育て・教育）のため」が15.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため」「子どもの都合（子育て・教育）のため」「住宅の都合」「自分・配偶者の仕事の都合のため」が5ポイント以上減少し、「その他」が5ポイント増加しています。



※豊能町に転入後の居住年数についての設問で「1年未満」「1年以上3年未満」「3年以上5年未満」「5年以上10年未満」と答えた方のみ。

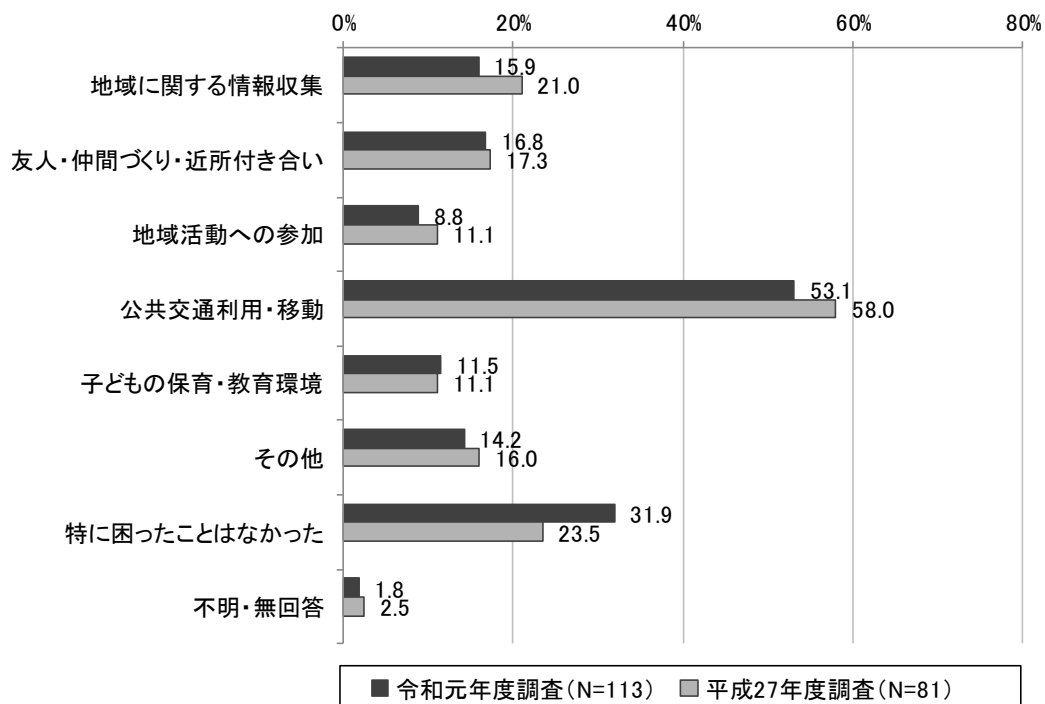


## (12) 転入する時や住み始めた時に困ったことについて（複数回答）

〔令和元年度調査：問1-11（2）、平成27年度調査：問1-⑪〕

令和元年度調査では、「公共交通利用・移動」が53.1%と最も高く、次いで「特に困ったことはなかった」が31.9%、「友人・仲間づくり・近所付き合い」が16.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「特に困ったことはなかった」が8.4ポイント増加し、「地域に関する情報収集」と「公共交通利用・移動」が5ポイントほど減少しています。困ったことのほとんどの項目が減少傾向である中、「子どもの保育・教育環境」はわずかに増加がみられます。



※豊能町に転入後の居住年数についての設問で「1年未満」「1年以上3年未満」「3年以上5年未満」「5年以上10年未満」と答えた方のみ。

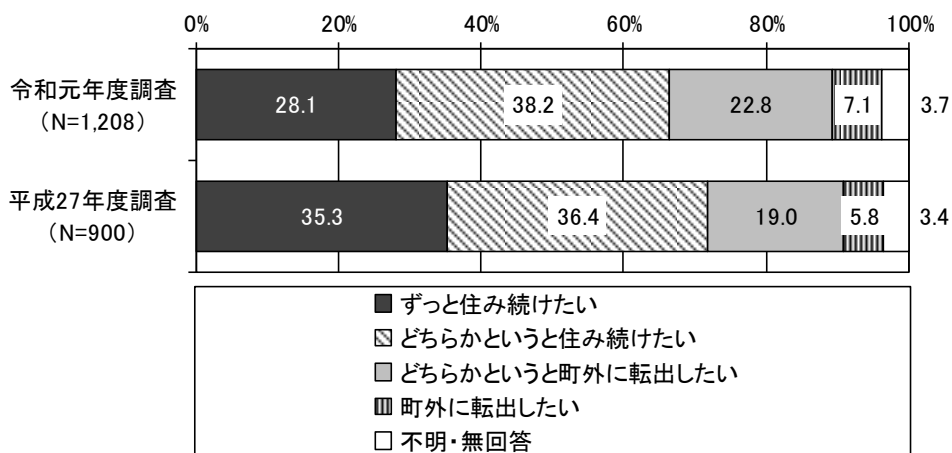
## 2 定住・転出・移住について

### (1) 豊能町での定住意向について（単数回答）

〔令和元年度調査：問2-1、平成27年度調査：問2-①〕

令和元年度調査では、「どちらかというに住み続けたい」が38.2%と最も高く、次いで「ずっと住み続けたい」が28.1%、「どちらかという町外に転出したい」が22.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、『住み続けたい』（「ずっと住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」の合計）が約5ポイント減少し、『転出したい』（「町外に転出したい」と「どちらかという町外に転出したい」の合計）が約5ポイント増加しています。

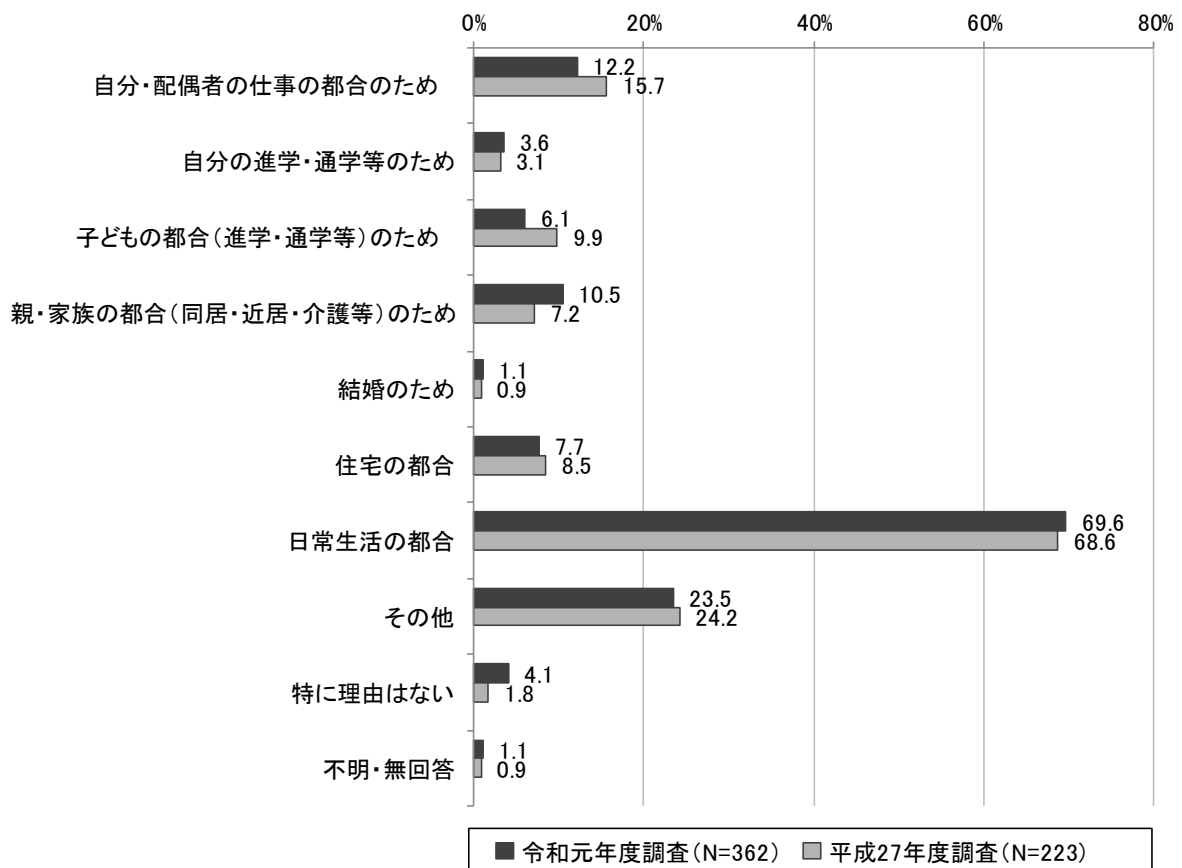


## (2) 転出したい理由について（複数回答）

〔令和元年度調査：問2-2（1）、平成27年度調査：問2-①〕

令和元年度調査では、「日常生活の都合」が69.6%と最も高く、次いで「自分・配偶者の仕事の都合のため」が12.2%、「親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため」が10.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、同様の傾向がみられますが、「親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため」が3.3ポイント増加し、「子どもの都合（進学・通学等）のため」と「自分・配偶者の仕事の都合のため」が3ポイント以上減少しています。

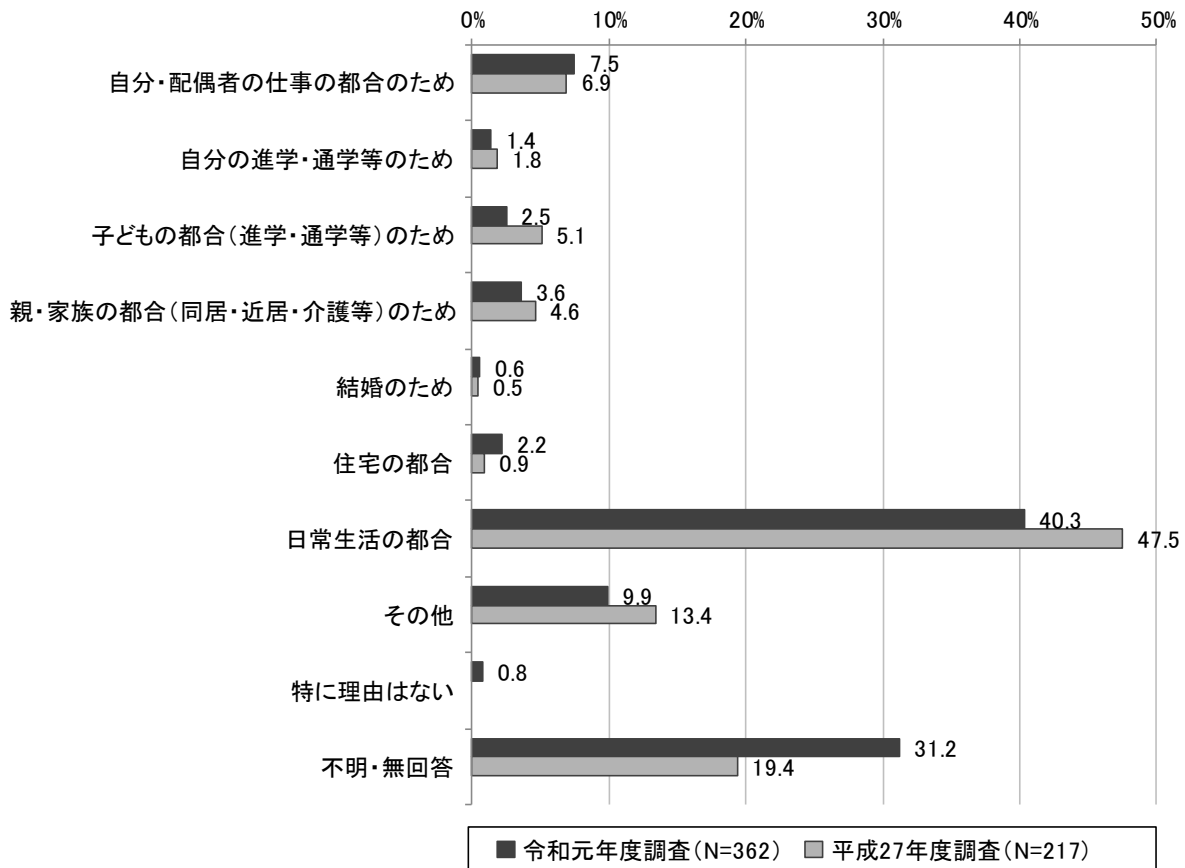


※豊能町での定住意向についての設問で「どちらかという町外に転出したい」「町外に転出したい」と答えた方のみ。

### (3) 転出したい最も大きな理由について（単数回答）

〔令和元年度調査：問2-2（2）、平成27年度調査：問2-②〕

令和元年度調査では、「日常生活の都合」が40.3%と最も高く、次いで「自分・配偶者の仕事の都合のため」が7.5%、「親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため」が3.6%となっています。  
平成27年度調査と比較すると、「日常生活の都合」が7.2ポイント減少しています。



※平成27年度調査は「特に理由はない」の項目なし。

※豊能町での定住意向についての設問で「どちらかという町外に転出したい」「町外に転出したい」と答えた方のみ。

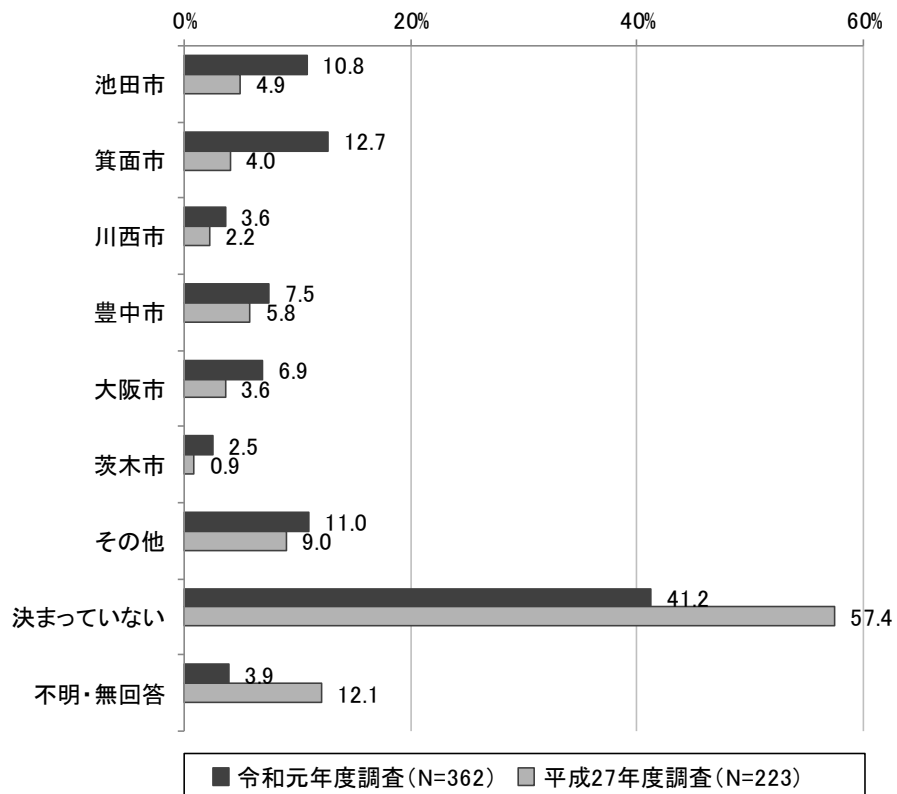
※令和元年度調査も「特に理由はない(3件)」を除いて、N=359を母数にして割合を出すべきでは？

#### (4) 転出の希望場所について（単数回答）

〔令和元年度調査：問2-2（3）、平成27年度調査：問2-③〕

令和元年度調査では、「決まっていない」が41.2%と最も高く、次いで「箕面市」が12.7%、「池田市」が10.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「決まっていない」が16.2ポイント減少し、「箕面市」が8.7ポイント、「池田市」が5.9ポイント増加しています。



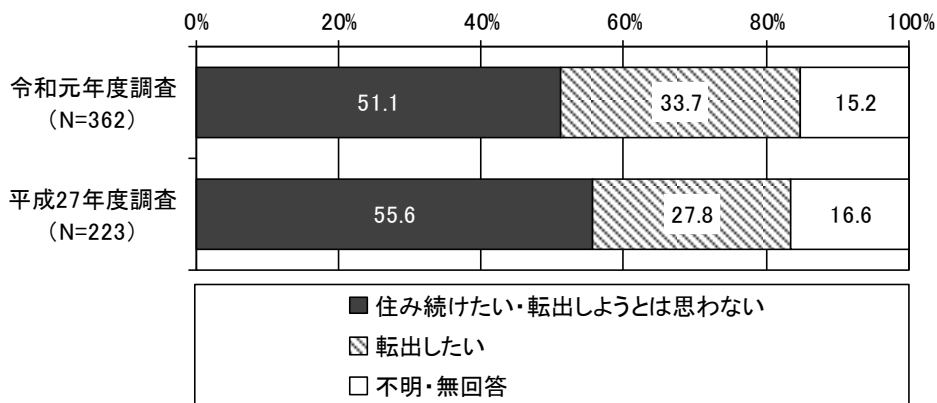
※豊能町での定住意向についての設問で「どちらかという町外に転出したい」「町外に転出したい」と答えた方のみ。

### (5) 転出の理由がなければ、豊能町に住み続けたいかについて（単数回答）

〔令和元年度調査：問2-2（4）、平成27年度調査：問2-④〕

令和元年度調査では、「住み続けたい・転出しようとは思わない」が51.1%、「転出したい」が33.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「住み続けたい・転出しようとは思わない」が4.5ポイント減少、「転出したい」が5.9ポイント増加しています。



※豊能町での定住意向についての設問で「どちらかという町外に転出したい」「町外に転出したい」と答えた方のみ。

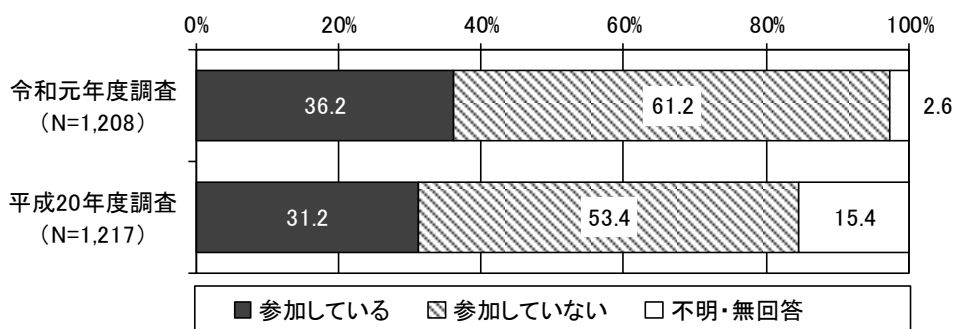
### 3 コミュニティとの関わりや意識等について

#### (1) 地域の活動への参加について（単数回答）

〔令和元年度調査：問3-1、平成20年度調査：問39〕

令和元年度調査では、「参加していない」が61.2%、「参加している」が36.2%となっています。

平成20年度調査と比較すると、「参加している」が4.0ポイント増加しているのに対し、「参加していない」は7.8ポイント増加しています。



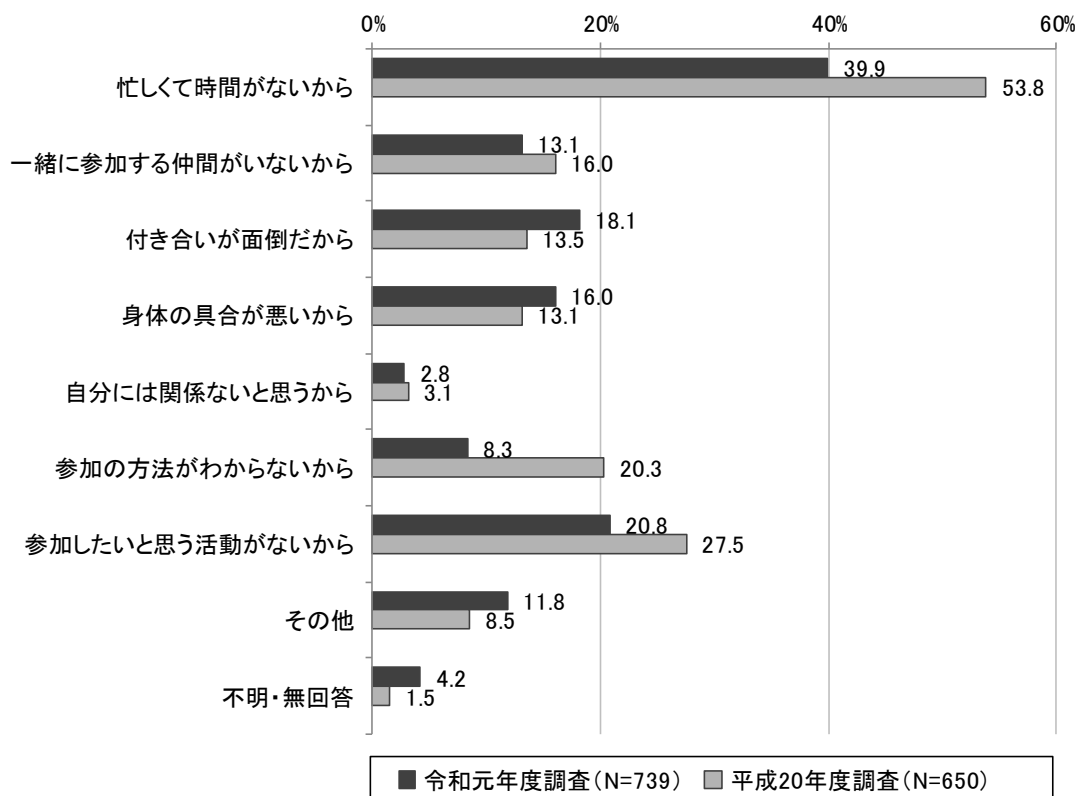
## (2) 参加しない理由について（2つまで複数回答）

〔令和元年度調査：問3－3、平成20年度調査：問41〕

令和元年度調査では、「忙しくて時間がないから」が39.9%と最も高く、次いで「参加したいと思う活動がないから」が20.8%、「付き合いが面倒だから」が18.1%となっています。

平成20年度調査では、「忙しくて時間がないから」が53.8%と最も高く、次いで「参加したいと思う活動がないから」が27.5%、「参加の方法がわからないから」が20.3%となっています。

両調査を比較すると、「忙しくて時間がないから」が13.9ポイント、「参加の方法がわからないから」が12.0ポイント、「参加したいと思う活動がないから」が6.7ポイント減少しており、「付き合いが面倒だから」が4.6ポイント、「その他」が3.3ポイント増加しています。



※地域の活動への参加についての設問で「参加していない」と答えた方のみ。

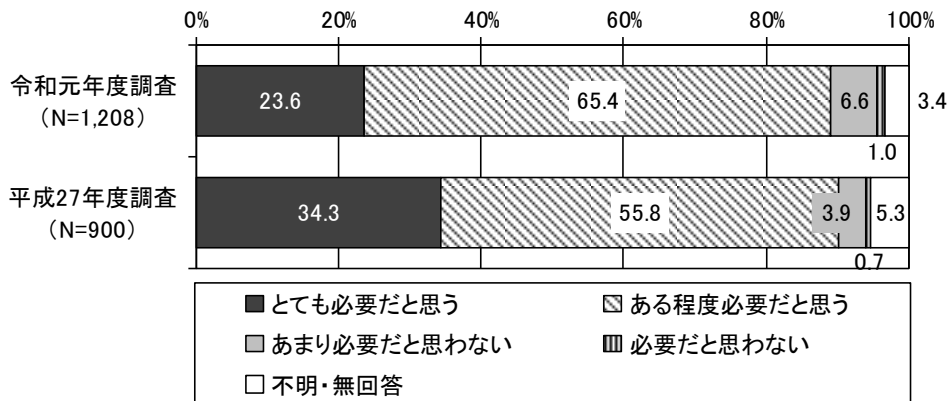


### (3) 地域のつながり・交流について（単数回答）

〔令和元年度調査：問3-4、平成27年度調査：問4-①〕

令和元年度調査では、「ある程度必要だと思う」が65.4%と最も高く、次いで「とても必要だと思う」が23.6%、「あまり必要だと思わない」が6.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「とても必要だと思う」が10.7ポイント減少し、「ある程度必要だと思う」が9.6ポイント増加しています。



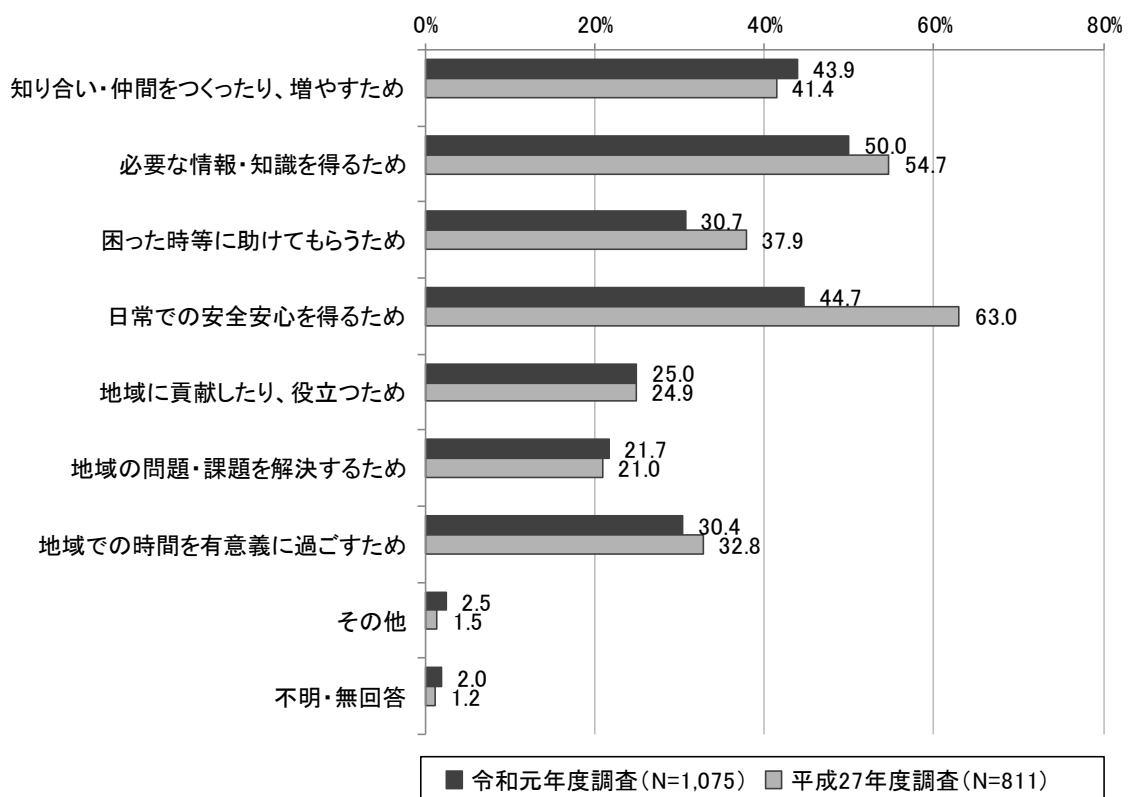
#### (4) 地域のつながり・交流を持つ（持ちたい）目的について（複数回答）

〔令和元年度調査：問3-5（1）、平成27年度調査：問4-②〕

令和元年度調査では、「必要な情報・知識を得るため」が50.0%と最も高く、次いで「日常での安全安心を得るため」が44.7%、「知り合い・仲間をつくったり、増やすため」が43.9%となっています。

平成27年度調査では、「日常での安全安心を得るため」が63.0%と最も高く、次いで「必要な情報・知識を得るため」が54.7%、「知り合い・仲間をつくったり、増やすため」が41.4%となっています。

両調査を比較すると、「日常での安全安心を得るため」が18.3ポイント、「困った時等に助けてもらうため」が7.2ポイント減少しています。



※地域のつながり・交流についての設問で「とても必要だと思う」「ある程度必要だと思う」と答えた方のみ。

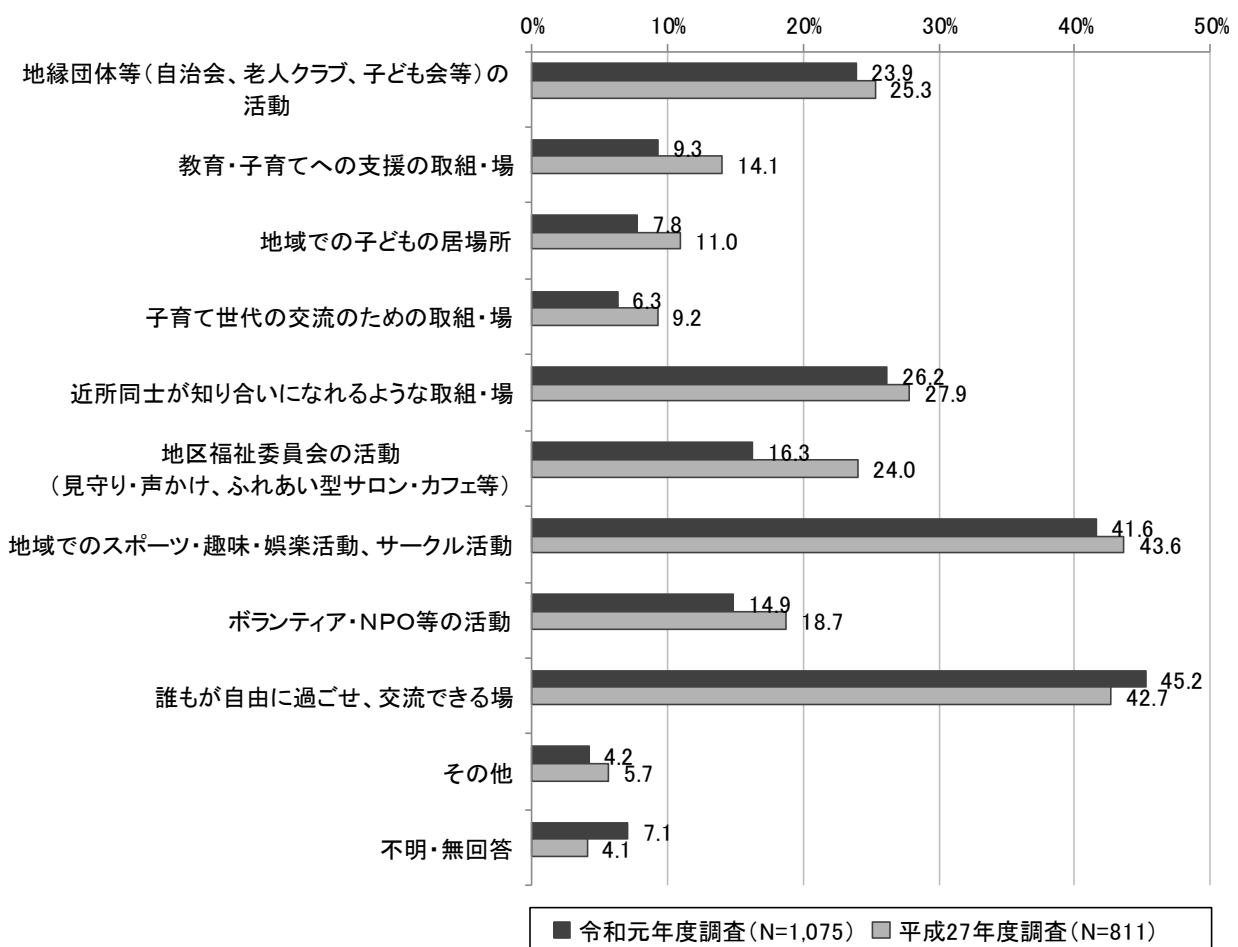
## (5) 地域のつながり・交流づくりに結びつく「取組」「場」として参加・参画・利用したいものについて（複数回答）

〔令和元年度調査：問3-5（2）、平成27年度調査：問4-③〕

令和元年度調査では、「誰もが自由に過ごせ、交流できる場」が45.2%と最も高く、次いで「地域でのスポーツ・趣味・娯楽活動、サークル活動」が41.6%、「近所同士が知り合いになれるような取組・場」が26.2%となっています。

平成27年度調査では、「地域でのスポーツ・趣味・娯楽活動、サークル活動」が43.6%と最も高く、次いで「誰もが自由に過ごせ、交流できる場」が42.7%、「近所同士が知り合いになれるような取組・場」が27.9%となっています。

両調査を比較すると、「誰もが自由に過ごせ、交流できる場」が増加しています。



※地域のつながり・交流についての設問で「とても必要だと思う」「ある程度必要だと思う」と答えた方のみ。

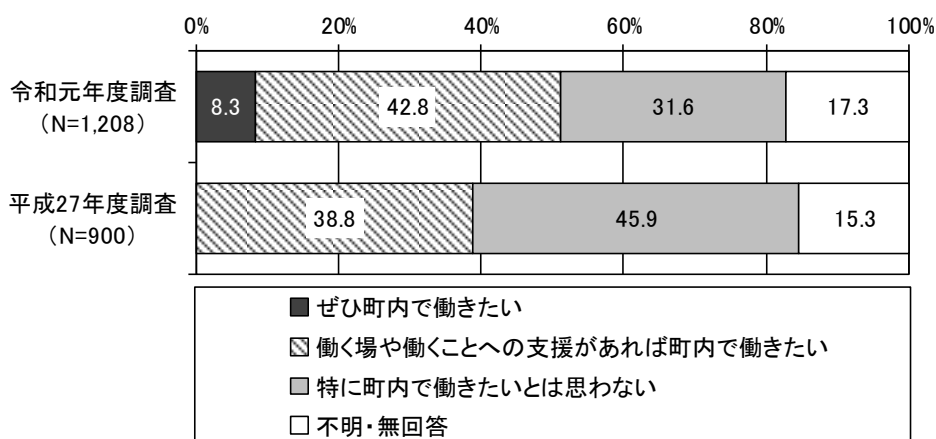
## 4 地域における「しごと」の創出に関する意識等について

### (1) 豊能町内で働くことについて（単数回答）

〔令和元年度調査：問4-2、平成27年度調査：問5-②〕

令和元年度調査では、「働く場や働くことへの支援があれば町内で働きたい」が42.8%と最も高く、次いで「特に町内で働きたいとは思わない」が31.6%、「ぜひ町内で働きたい」が8.3%となっています。『町内で働きたい』（「ぜひ町内で働きたい」と「働く場や働くことへの支援があれば町内で働きたい」の合計）は5割を超えています。

平成27年度調査と比較すると、「特に町内で働きたいとは思わない」が14.3%減少し、「働く場や働くことへの支援があれば町内で働きたい」が4.0ポイント増加しています。『町内で働きたい』（「ぜひ町内で働きたい」と「働く場や働くことへの支援があれば町内で働きたい」の合計）でみると、12.3ポイントの増加となっています。



※平成27年度調査は「ぜひ町内で働きたい」の項目なし。

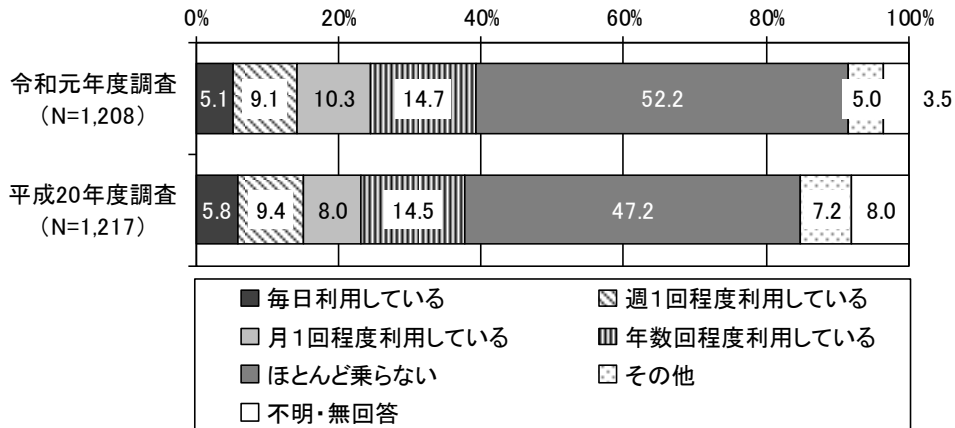
## 5 地域生活について

### (1) 町内の路線バスの利用について（単数回答）

〔令和元年度調査：問5-1、平成20年度調査：問47〕

令和元年度調査では、「ほとんど乗らない」が52.2%と最も高く、次いで「年数回程度利用している」が14.7%、「月1回程度利用している」が10.3%となっています。

平成20年度調査と比較すると、「ほとんど乗らない」が5.0ポイント増加しています。



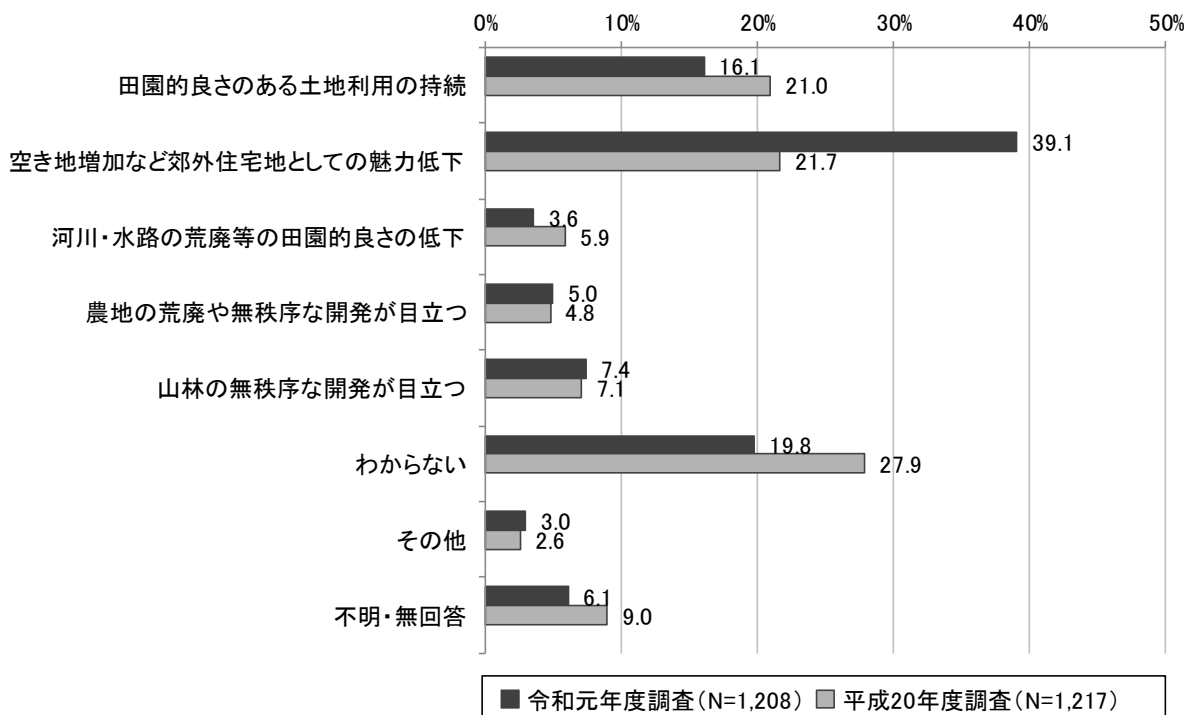
## (2) 町内の土地利用について（単数回答）

〔令和元年度調査：問5－3、平成20年度調査：問49〕

令和元年度調査では、「空き地増加など郊外住宅地としての魅力低下」が39.1%と最も高く、次いで「わからない」が19.8%、「田園的良さのある土地利用の持続」が16.1%となっています。

平成20年度調査では、「わからない」が27.9%と最も高く、次いで「空き地増加など郊外住宅地としての魅力低下」が21.7%、「田園的良さのある土地利用の持続」が21.0%となっています。

両調査を比較すると、「空き地増加など郊外住宅地としての魅力低下」が17.4ポイント増加しています。また、「わからない」が8.1ポイント、「田園的良さのある土地利用の持続」が4.9ポイント減少しています。



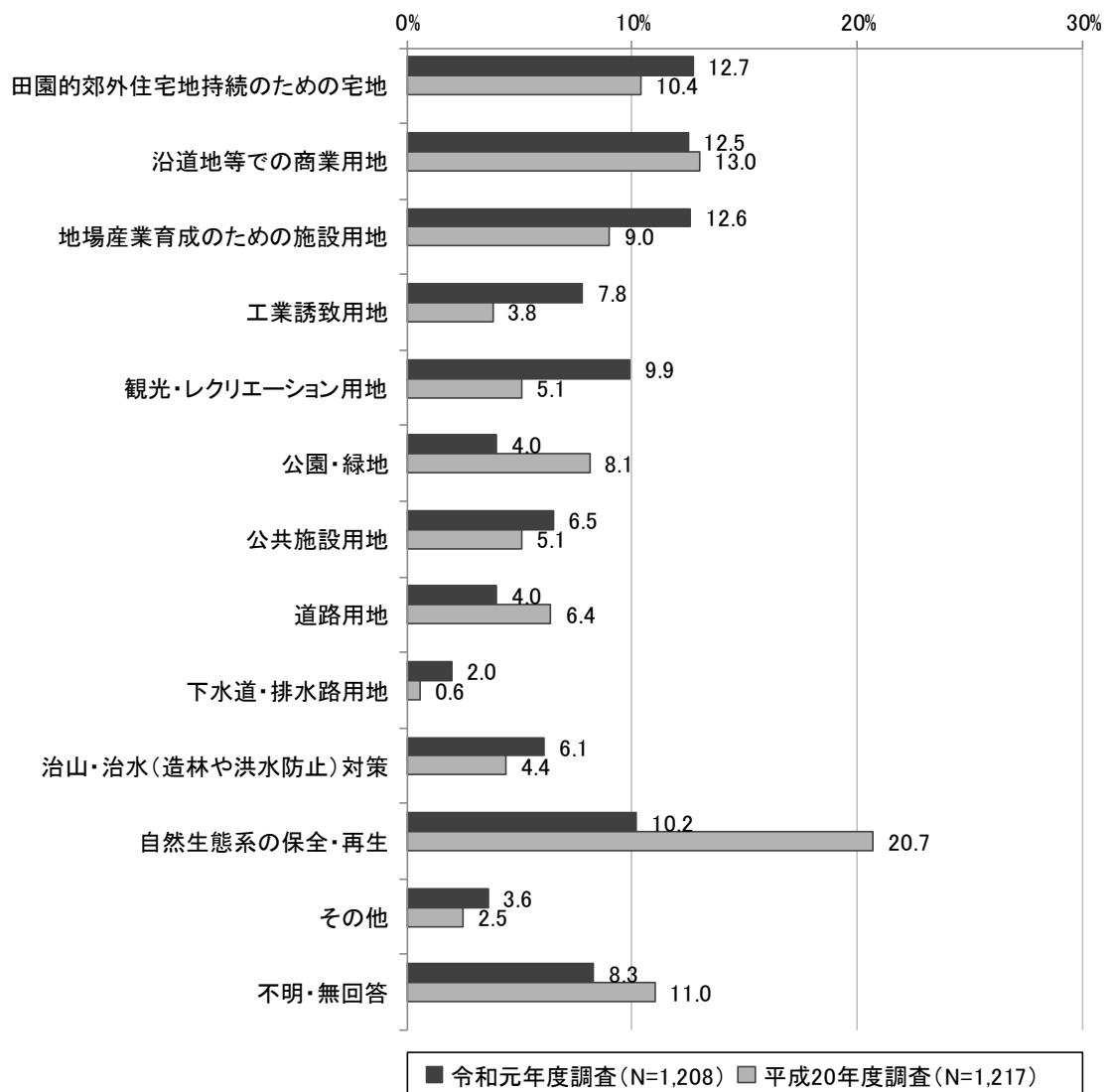
### (3) 優先的に整備していくべき用地について（単数回答）

〔令和元年度調査：問5－4、平成20年度調査：問50〕

令和元年度調査では、「田園的郊外住宅地持続のための宅地」が12.7%と最も高く、次いで「地場産業育成のための施設用地」が12.6%、「沿道地等での商業用地」が12.5%となっています。

平成20年度調査では、「自然生態系の保全・再生」が20.7%と最も高く、次いで「沿道地等での商業用地」が13.0%、「田園的郊外住宅地持続のための宅地」が10.4%となっています。

両調査を比較すると、「自然生態系の保全・再生」が10.5ポイント、「公園・緑地」が4.1ポイント減少しています。一方、「観光・レクリエーション用地」が4.8ポイント、「工業誘致用地」が4.0ポイント、「地場産業育成のための施設用地」が3.6ポイント増加しています。



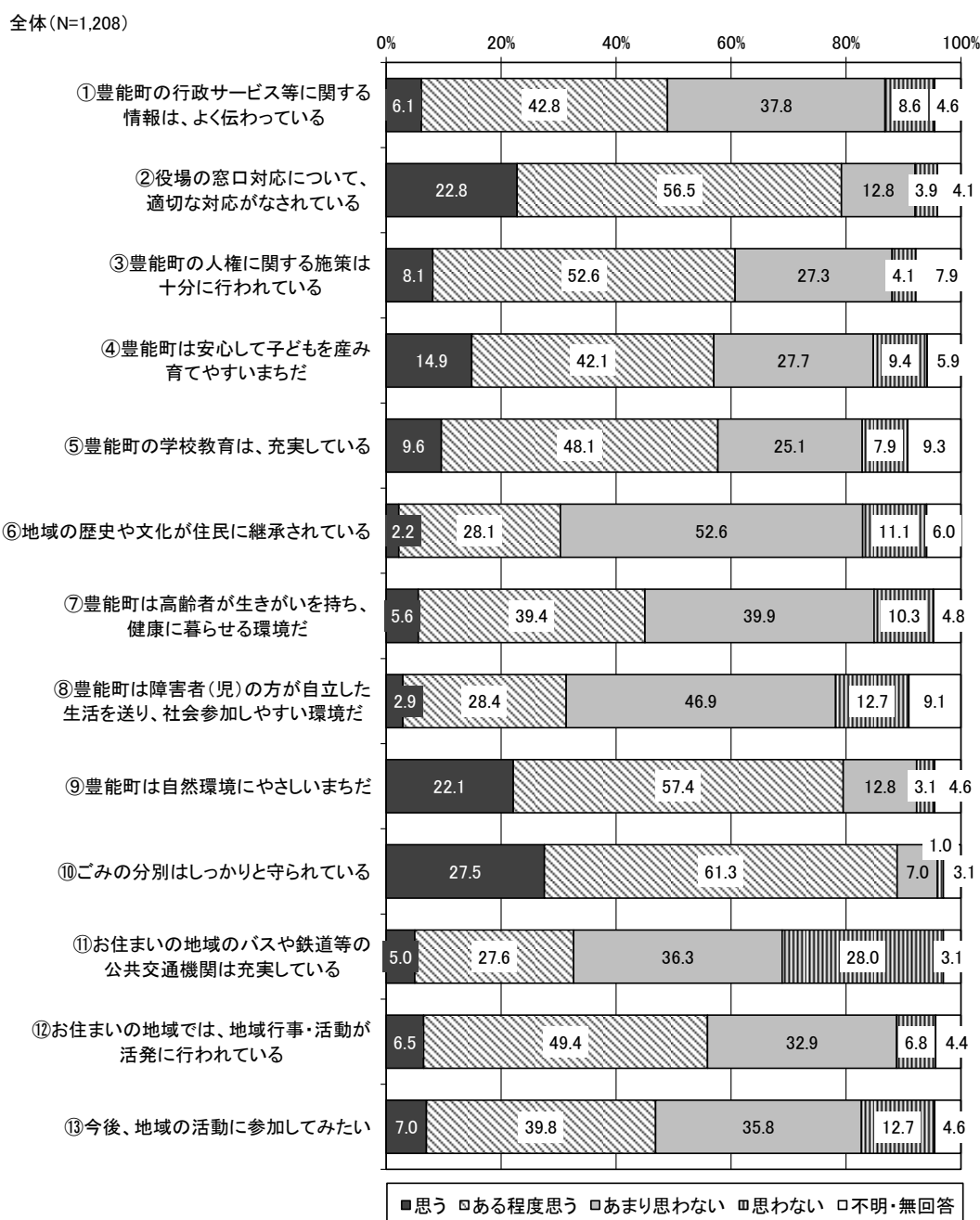
## 6 豊能町の取組について

### (1) 豊能町の現状について（単数回答）

〔令和元年度調査：問6-1、平成27年度調査：問6〕

令和元年度調査では、『思う』（「思う」「ある程度思う」の合計）は、「ごみの分別はしっかりと守られている」が88.8%と最も高く、次いで「豊能町は自然環境にやさしいまちだ」が79.5%、「役場の窓口対応について、適切な対応がなされている」が79.3%となっています。

一方、『思わない』（「あまり思わない」「思わない」の合計）は、「お住まいの地域のバスや鉄道等の公共交通機関は充実している」が64.3%と最も高く、次いで「地域の歴史や文化が住民に継承されている」が63.7%、「豊能町は障害者（児）の方が自立した生活を送り、社会参加しやすい環境だ」が59.6%となっています。





平成27年度調査と比較すると、『思う』の割合は、「役場の窓口対応について、適切な対応がなされている」と「豊能町の人権に関する施策は十分に行われている」でそれぞれ9.4ポイント、8.5ポイント増加しています。また、「地域の歴史や文化が住民に継承されている」と「お住まいの地域では、地域行事・活動が活発に行われている」でも約5ポイント増加しています。

一方、『思わない』の割合は、「今後、地域の活動に参加してみたい」で7.4ポイント増加しています。また、「豊能町の学校教育は、充実している」と「豊能町は安心して子どもを産み育てやすいまちだ」でも約5ポイント増加しています。

